

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成29年8月10日

**【四半期会計期間】** 第69期第1四半期(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

**【会社名】** 株式会社フジマック

**【英訳名】** FUJIMAK CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 熊谷 俊範

**【本店の所在の場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岩崎 正明

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岩崎 正明

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期 連結累計期間	第69期 第1四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	8,438,665	7,523,152	36,094,338
経常利益 (千円)	322,651	293,567	2,270,706
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	188,214	209,390	1,502,887
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	9,081	318,365	1,490,033
純資産額 (千円)	13,543,882	15,179,127	15,024,685
総資産額 (千円)	32,954,963	32,651,351	32,622,998
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.72	31.95	229.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	41.1	46.5	46.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用情勢が底堅く、緩やかな回復基調を維持し、GDPも前年比プラスに転じましたが、設備投資は機械受注が前年比マイナスとなり、輸出にも一服感が生じるなど、必ずしも順調とは言えない状況でした。

世界経済は、米国は製造業、非製造業とも景況感が改善する一方、ユーロ圏は非製造業がやや不振で、先行き民需に不安が残り、中国は住宅市場と過剰設備の調整圧力が重荷となっている中、依然として過剰債務問題を抱え、減速に歯止めがかかっていない状況です。

このような環境下、当社グループは、外食産業、ホテル・旅館等宿泊施設、レストラン業界、レジャー産業、病院、福祉施設、教育施設、さらにはセントラルキッチン、食品工場などの各マーケットにおける多種多様なニーズ、夫々のお客様ごとのご要望にお応えすべく、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制を強化してまいりました。

こうしたことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は75億2千3百万円（前年同期比10.8%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は2億9千3百万円（前年同期比9.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産の増加、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末比2千8百万円増の326億5千1百万円となりました。負債につきましては、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末比1億2千6百万円減の174億7千2百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比1億5千4百万円増の151億7千9百万円となりました。

#### (3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、9千7百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (6) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

#### (7) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画に著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年4月1日～ 平成29年6月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,600	65,516	
単元未満株式	普通株式 1,800		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,516	

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,600		582,600	8.16
計		582,600		582,600	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,188,755	10,639,188
受取手形及び売掛金	7,715,419	4,821,450
商品及び製品	2,402,160	2,981,633
仕掛品	66,925	86,311
原材料及び貯蔵品	1,161,481	1,011,581
その他	980,252	786,925
貸倒引当金	6,430	5,360
流動資産合計	20,508,564	20,321,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,284,306	5,430,859
減価償却累計額	2,166,128	2,215,939
建物及び構築物(純額)	3,118,177	3,214,920
機械装置及び運搬具	4,130,878	4,087,968
減価償却累計額	3,013,912	2,995,576
機械装置及び運搬具(純額)	1,116,966	1,092,392
土地	3,993,344	3,993,344
その他	1,841,323	1,825,187
減価償却累計額	1,448,378	1,466,853
その他(純額)	392,944	358,333
有形固定資産合計	8,621,433	8,658,990
無形固定資産	143,078	140,786
投資その他の資産		
投資有価証券	1,741,634	1,897,955
その他	1,704,807	1,729,259
貸倒引当金	96,519	97,370
投資その他の資産合計	3,349,922	3,529,844
固定資産合計	12,114,434	12,329,621
資産合計	32,622,998	32,651,351



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	8,753,919	8,424,117
1年内返済予定の長期借入金	782,344	744,395
未払法人税等	388,537	310,946
賞与引当金	448,826	211,066
役員賞与引当金	37,718	14,062
製品保証引当金	84,200	81,500
その他	1,575,505	2,296,007
流動負債合計	12,071,050	12,082,096
<b>固定負債</b>		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,825,638	2,656,750
退職給付に係る負債	125,278	124,459
その他	1,576,346	1,608,917
固定負債合計	5,527,262	5,390,127
負債合計	17,598,313	17,472,224
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	10,241,167	10,286,724
自己株式	441,523	441,613
株主資本合計	12,419,160	12,464,627
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	745,246	840,552
土地再評価差額金	1,727,717	1,727,717
為替換算調整勘定	132,561	146,231
その他の包括利益累計額合計	2,605,524	2,714,500
純資産合計	15,024,685	15,179,127
負債純資産合計	32,622,998	32,651,351

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,438,665	7,523,152
売上原価	5,663,670	4,797,613
売上総利益	2,774,994	2,725,539
販売費及び一般管理費	2,406,569	2,472,885
営業利益	368,425	252,653
営業外収益		
受取利息	857	1,114
受取配当金	15,069	13,307
受取手数料	9,962	5,033
受取賃貸料	10,036	9,133
為替差益		7,715
その他	9,856	19,726
営業外収益合計	45,781	56,031
営業外費用		
支払利息	14,162	10,797
為替差損	73,367	
その他	4,026	4,320
営業外費用合計	91,555	15,117
経常利益	322,651	293,567
特別利益		
固定資産売却益	46	10
その他		53
特別利益合計	46	64
特別損失		
固定資産除却損	90	492
固定資産売却損	28	4,216
特別損失合計	119	4,708
税金等調整前四半期純利益	322,578	288,923
法人税、住民税及び事業税	207,456	179,973
法人税等調整額	73,092	100,441
法人税等合計	134,364	79,532
四半期純利益	188,214	209,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,214	209,390

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	188,214	209,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,036	95,305
為替換算調整勘定	111,096	13,669
その他の包括利益合計	179,132	108,975
四半期包括利益	9,081	318,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,081	318,365
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
輸出割引手形	千円	1,327千円

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
減価償却費	134,909千円	139,865千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	131,069	20	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	163,833	25	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	28円72銭	31円95銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	188,214	209,390
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	188,214	209,390
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,490	6,553,346

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8 月 9 日

株式会社フジマック  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。